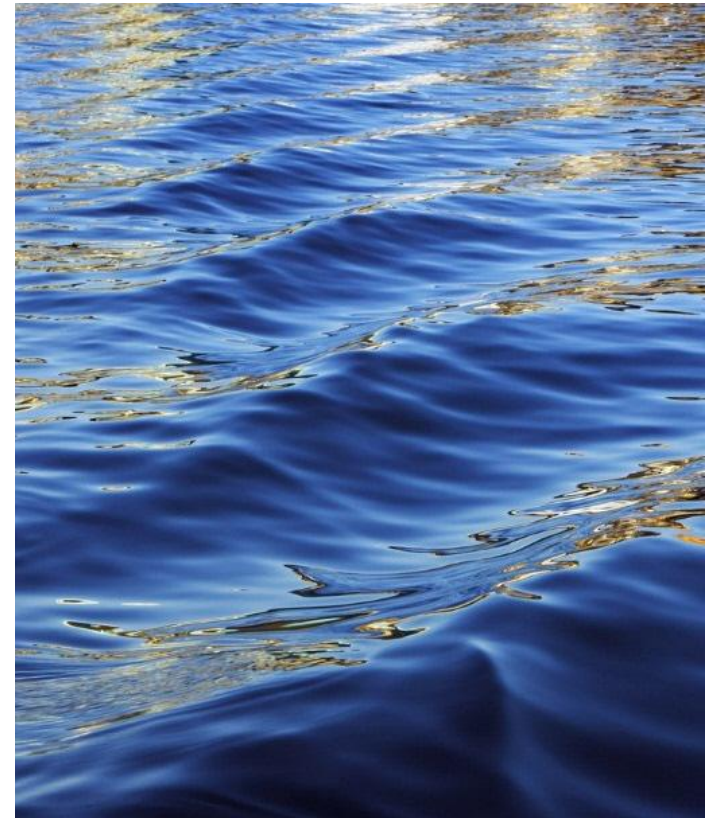


こども+アール・ブリュット 北海道みらい作品展

…「みんなちがって、みんないい」
いろいろ個性、わたしたちの未来へ…

主催：北海道文化団体協議会



1 趣 旨

2018年“北海道命名150年・北海道みらい事業”の一環として開催した「北海道こども未来150作品展」の実績から、新たな枠組みの企画を立て継続事業として発展させたい。

世界的な動きとして“生の芸術”とも訳されるアール・ブリュットへの関心が高まっている。

一般公募の子供たちに加え、募集対象に中学生も含め特に障害という個性を持つ子供たちの作品を中心として広く全道から募集。健常児も障害児も区分を設けず一緒に同じ会場での作品展を無料開催する試みにより、多くの市民・道民の目に触れる機会を提供し、枠にとらわれず互いの個性を認め合うアートの中で、子供たちに輝きと自由に創造する喜びを体感してもらいたい。

国連総会でも十分に検討されて決められた「インクルーシブ教育」という障害児の権利。障害を個性と捉え、健常児も障害児もみんな違うからこそ、みんないいんだという考え方が基礎となっている。

少子高齢化の加速に伴い社会不安が高まる中、今わたしたちができることは何かを考え、地域全体で社会貢献と文化振興を図り、AI時代到来にも負けない人材を育む事業とする。

2 主 催

北海道文化団体協議会

3 運営主管

札幌文化団体協議会

4 後 援（予定）

北海道 札幌市 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道社会福祉協議会 札幌市社会福祉協議会
(公財)北海道文化財団 (公財)札幌市芸術文化財団

5 協 力

北海道陶芸協会

6 特別協賛・協賛（スポンサー）

7 会 期

平成31年8月16日(金)～18日(日)の3日間

8 会 場

札幌市民ギャラリー[第3展示室]（札幌市中央区南2条東6丁目）

※「第48回札幌文化団体協議会フェスティバル」[第1・2展示室]同時開催とし、1階全室を貸切利用。
札幌で活動する様々な美術系ジャンル(U15含む)の展示・いけ花・茶席・ワークショップも併設する。

9 審 査

8月15日（木）専門家による選考会を実施、知事賞・札幌市長賞・スポンサー各賞ほか出賞予定。

入賞者は、ホームページ <http://doubun.wp.xdomain.jp/> で告知する

入賞者には賞状、ほかに参加賞として図録・記念品を出品者全員に贈呈する。



(実績資料)

2018.11/20(火)～25(日) 開催 「北海道こども未来150作品展」～わたしたちの未来～

北海道150年事業“北海道みらい事業”

(札幌市資料館 ミニギャラリー1～6)

当協議会傘下の全道14振興局内の文化団体が窓口になり、小学生の平面作品を募集しました。

その他に帯広市の障害者支援施設に通う子供達からも作品が寄せられ、合計151作品を展示。障害児の作品は独自の輝きがあり、驚きの声が多く聞かれました。

23日には会場内で美術家・阿部典英氏を講師に迎えたワークショップ「紙の魚でみんなの水族館を作ろう」も開催され、受講した子供達の完成作品も加わって一層賑やかな彩りに。



作品展示



(完成作品)



ワークショップ

